

「第2回日田彦山線復旧会議検討会」議事概要

日時：2018年7月20日（金） 13時00分～14時40分

場所：福岡県粕屋総合庁舎 3F 大会議室

議題：

1. 鉄道で復旧するための方策に関する検討

- ・ 前回の検討会で出された着工時期については、「復旧費の精査」と「継続的な運行の確保」の2つの課題を並行して1年以内を目標として議論し、早期着工を目指すこととしました。
- ・ 竹本橋梁については、大分県から提案のあった捷水路の整備により修繕で復旧することとし、具体的な調整を進めることとしました。
- ・ 平迫橋梁と福井橋梁は、福岡県の災害復旧事業による架け替えに向けて具体的な調整を更に進めるとともに、国直轄河川にかかる第2彦山川橋梁、第3彦山川橋梁についても、引き続き復旧費の精査を進めることとしました。
- ・ 福岡県と大分県の災害復旧に係る事業により約22億円が低減されており、現時点での復旧費は、約56億円となっております。
- ・ 復旧費の一部が増加した理由としては、災害復旧事業等との調整により橋梁の長さ等の変更が生じたためとの説明がありました。
- ・ 復旧費縮減のために、鉄道軌道整備法の活用も視野に入れつつ、今後の交付基準の策定を注視していくこととしました。

2. 復旧後の日田彦山線の継続的な運行の確保に関する検討

- ・ 沿線市町村より、利用促進策の取り組みについての提案がありました。
- ・ 日田彦山線の不通区間における被災前の2016年度（H28年度）の収支状況について説明がありました。
- ・ 収支状況を踏まえたうえで、「継続的な運行の確保」のために、利用促進と収支改善が実現可能となる具体的な方策について検討を進めることとしました。
- ・ また、日田彦山線を軸とした他の公共交通との連携等についても検討することとしました。

3. 代行バスのご利用状況

- ・ 5月7日から7月13日までのご利用状況の報告と7月14日以降の代行バスのダイヤ見直しについて説明がありました。
- ・ 代行バスの利便性向上のため、アンケート調査を実施することを検討することとします。アンケート内容や実施方法については、沿線市町村と相談しながら決定することとしました。

以上について、今回の検討会で示された課題について事務局で調整を行い、次回の検討会で議論を行っていくことを確認し、「第2回日田彦山線復旧会議検討会」は終了しました。

以上

日田彦山線復旧会議検討会

(委員)

こやま えいじ
小山 英嗣 福岡県企画・地域振興部長

おかもと てつお
岡本 天津男 大分県企画振興部長

たかはし えいじ
高橋 英治 東峰村副村長

ふじた すえひろ
藤田 季弘 添田町副町長

(代理出席 てしま とおる
手嶋 徹 添田町まちづくり課長)

おおつか ゆうじ
大塚 勇二 日田市副市長

まえだ はやと
前田 勇人 九州旅客鉄道株式会社総合企画本部長

(アドバイザー)

あべ ゆうすけ
阿部 雄介 国土交通省九州運輸局交通政策部長

しゅどう ゆういちろう
首藤 郁一郎 国土交通省九州運輸局鉄道部長

(敬称略)